

※記入例

の欄は記入しないで下さい。

農用地利用集積計画書

第1 利用権設定（経営受委託、移転及び転貸を除く）関係

1 各筆明細



整理番号	利用権の設定を受ける者の 氏名及び住所 (A)				(氏名又は名称) <b>借人</b> 五島 太郎				(住所) 五島市福江町1番1号						
	利用権を設定する者の 氏名及び住所 (B)				(氏名又は名称) <b>貸人</b> 福江 花子				(住所) 五島市福江町〇〇番						
利用権を設定する土地 (C)				設定する利用権 (D)						利用権設定等促進事業の実施により成立する利用権の設定等に係る当事者間の法律関係 (E)		利用権を設定する土地の (B) 以外の権原者等 (F)			備考
所在		地番	現況地目	面積 ㎡	利用権の種類	内容	始期	存続期間 (終期)	借賃	借賃の 支払 方法	住所	氏名 又は 名称	権原 の種類	同意 印	
大字	字														
〇〇町〇〇	〇〇	〇〇番	畑/田	〇〇〇	賃貸借権/使用貸借権	畑/田	RO.〇.〇	RO.〇.〇	〇〇/-	〇〇/-	賃貸借権/使用貸借権				
<p>この計画に同意する。</p> <p>利用権の設定を受ける者 住所 五島市福江町1番1号 氏名 五島 太郎 印</p> <p>利用権を設定する者 住所 五島市福江町〇〇番 氏名 福江 花子 印</p> <p><b>必要に応じて行を追加してください。</b></p> <p>利用権を設定する者以外の者で利用権を設定する 住所 氏名 印</p> <p>土地につき所有権その他の使用収益権を有する者</p>															

あっせん確認欄

貸借に農業委員、推進委員が関わっている場合は、当該委員に氏名・日付を記入していただきます。  
(もし書いてもらうのが難しい場合には、申請書を提出する際に申し出をお願いします。)

職名	氏名	日付	事務局確認印
農業委員			
農地利用最適化推進委員			

※土地名義人が死亡しており、相続が済んでいない場合は、共有持ち分の過半の同意が必要です。

農用地利用集積計画書

第1 利用権設定（経営受委託、移転及び転貸を除く）関係

1 各筆明細

名義人が亡くなっている場合は、代表相続人名外〇名と記載し、代表相続人の住所を記載する。(共有持ち分の場合も同様)  
例:五島太郎さん名義の土地を借りたいが、既に亡くなっており、花子さんを含む相続人が4人(配偶者1人、子3人)いる場合



整理番号		利用権の設定を受ける者の氏名及び住所 (A)				(住所)									
		利用権を設定する者の氏名及び住所 (B)				(氏名又は名称) 五島 花子 外3名 (住所) 五島市福江町〇〇番地〇									
利用権を設定する土地 (C)				設定する利用権 (D)				利用権設定等促進事業の実施により成立する利用権の設定等に係る当事者間の法律関係 (E)		利用権を設定する土地の(B)以外の権原者等 (F)		備考			
所在		地番	現況地目	面積 m <sup>2</sup>	利用権の種類	内容	始期	存続期間(終期)	借賃	借賃の支払方法	住所		氏名又は名称	権原の種類	同意印
大字	字														
〇〇町〇〇	〇〇	〇〇番	畑/田	〇〇〇	賃貸借権/使用貸借権	畑/田	R〇.〇.〇	R〇.〇.〇	〇〇/-	〇〇/-	賃貸借権/使用貸借権				
必要に応じて行を追加してください。											名義人の配偶者である花子(持分1/2)、子の一郎(持分1/2)、子の笑子(持分1/6)から同意を得られているため、持分の過半の同意を得られています。(1/2 + 1/6 + 1/6 = 5/6) つまり、もう一人の相続人の同意がなくても契約が可能です。				
この計画に同意する。															
利用権の設定を受ける者				住所				氏名				印			
利用権を設定する者				住所 五島市福江町〇〇番地〇				氏名 五島 花子				(印)			
"				住所 五島市福江町〇〇番地〇				氏名 五島 一郎				(印)			
"				住所 長崎市△△町△△番地				氏名 長崎 笑子				(印)			
"				住所				氏名				印			
利用権を設定する者以外の者で利用権を設定する土地につき所有権その他の使用収益権を有する者				住所				氏名				印			

「利用権を設定する者」は、相続人の人数に応じて欄を追加してください。

あっせん確認欄

職名	氏名	日付	事務局確認印
農業委員			
農地利用最適化推進委員			

# ※記入例

の欄は記入しないで下さい。

年間農作業日数を記入して下さい。  
(年間150日以上の従事日数が必要です。)  
ただし、認定農業者の方は、最高でも「250日」と記載してください。

## 第1 利用権設定（経営受委託、移転及び転貸を除く）関係

### 3 利用権の設定等を受ける者の農業経営の状況等

整理番号	氏名又は名称	五島 太郎	性別	男	年齢	45	農作業従事日数	250 日	
利用権の設定等を受ける土地の面積 (A)	利用権の設定等を受ける者が耕作又は養畜の事業に供している農用地の面積 (B)	利用権の設定等を受ける者の主たる経営作目 (C)	利用権の設定等を受ける者の世帯員（構成員）の農作業従事及び雇用労働力の状況 (D)			利用権の設定等を受ける者の主な家畜の飼養の状況 (E)		利用権の設定等を受ける者の主な農機具の所有の状況 (F)	
			世帯員（構成員）	農業従事者（うち15歳以上60歳未満の者）	雇用労働力（年間延日数）	種類	数量	種類	数量
農地 (高)	農地	高菜	男	2 人	農業専従者	2 人	年間150日以上農業に従事している、世帯員数を記入して下さい。下欄は60～149日農業に従事している世帯員数を記入して下さい。	トラクター	2
採草放牧地	採草放牧地	例: 葉たばこ、イタリアン、ソルゴー、水稻、露地野菜、施設野菜、等			主として農業に従事する者	( 2 ) 人		耕うん機	1
その他	採草放牧地	世帯員を記入して下さい。農業に従事していない世帯員も含まれます。	女	2 人	従として農業に従事する者	( ) 人		AP-1	1
						農業補助者	人日	軽トラック	3
							家畜がいる場合は、家畜の種類と頭数を記入して下さい。例: 親豚…100 繁殖牛…20 子牛…15 等	保有している農機具の数量を記入して下さい。例: トラクター…2 耕うん機…1 AP-1…1 軽トラック…3 等	

括弧の中に、今回借り受ける農地で作付を行う作物を具体的に記入してください。(例: 水稻、麦、スナップ、高菜、ブロッコリー、イタリアン、ソルゴー等)

借受人が作付けている主な作物を記入して下さい。(今回借り受ける農地以外の農地で作付けをしている作物を含みます。) 例: 葉たばこ、イタリアン、ソルゴー、水稻、露地野菜、施設野菜、等

年間150日以上農業に従事している、世帯員数を記入して下さい。下欄は60～149日農業に従事している世帯員数を記入して下さい。

農繁期等に世帯員以外に、雇用している場合は、記入して下さい。

家畜がいる場合は、家畜の種類と頭数を記入して下さい。例: 親豚…100 繁殖牛…20 子牛…15 等

保有している農機具の数量を記入して下さい。例: トラクター…2 耕うん機…1 AP-1…1 軽トラック…3 等

3 利用権の設定等を受ける者の農業経営の状況等

※記入例

の欄は記入しないで下さい。

(法人)

整理番号	法人名		株式会社 五島ファーム 代表取締役 五島 太郎									
利用権の設定等を受ける土地の面積	生産している農畜産物のうち、粗収益の50%を超えるものの名称を記入してください。50%を超えるものがない場合には、粗収益の多いものから順に3つ記入してください。		利用権の設定等を受ける農地所有適格法人の事業の(C)			利用権の設定等を受ける農地所有適格法人の主な家畜の飼養の状況(F)	利用権の設定等を受ける農地所有適格法人の主な農機具の所有の状況(G)					
(A)	m <sup>2</sup>		事業の種類									
			農畜産物名	関連事業等の内容	左記以外の事業の内容							
			現在 高菜	現在	現在							
			権利取得後	農畜産物の加工など、農業に関連する事業があれば記入してください。	権利取得後							
括弧の中に、今回借り受ける農地で作付を行う作物を具体的に記入してください。(例: 水稻、麦、スナップ、高菜、ブロッコリー、イタリアン、カボチ等)	(B)	m <sup>2</sup>	事業の実施状況及び事業計画				種類	数量				
	作付予定作物		農業の売上高を記入してください				トラクター	5				
農地	(高菜)	農地	農業	左記以外の事業の内容			家畜がいる場合は家畜の種類と頭数を記入して下さい。例: 親豚...100 繁殖牛...20 子牛...15 等	保有している農機具の数量を記入して下さい。例: トラクター...2 耕うん機...1 AP-1...1 軽トラック...3 等				
採草放牧地			3年前	4,000,000	3年前	農業以外の売上高があれば記入して下さい。						
			2年前	4,500,000	2年前							
			1年前	4,800,000	1年前							
その他		採草放牧地	初年度		初年度							
			2年目		2年目							
			3年目		3年目							
利用権の設定等を受ける農地所有適格法人の構成員の状況(D)					利用権の設定等を受ける農地所有適格法人の業務生産法人の業務執行役員の状況(E)							
氏名・名称	議決権又は株式の数	法人への農地等の権利設定・移転		年間農業従事日数		法人と構成員との取引関係等の内容	氏名	住所	年間農業従事日数			
		権利の種類	面積	前年実績	見込み				前年実績	見込み	前年実績	見込み
五島 太郎				250	200		五島 太郎	五島市福江町1番1号	250	200	250	250
五島 花子				200	200		五島 花子	五島市福江町1番1号	200	200	200	200
福江 一郎				250	250							
雇用労働力(年間延日数)				人日								

(記載注意)

- 1 利用権の設定等を受ける者の農業経営の状況等の記載は、同一公告に係る計画書中に第1から第4までのいずれかの関係中にその記載があれば、他はその記載を要しない。
- 2 (A)欄は、同一公告に係る計画によって、利用権等の設定、移転が2つ以上ある場合には、それぞれを合算して面積を記入する。  
なお、「その他」には、混牧林地、農業用施設の用に供される土地、開発して農用地の用に供される土地又は開発して農業用施設の用に供される土地の別にその面積を記載する。
- 3 (C)欄の「農畜産物名」欄には、法人の生産する農畜産物のうち、粗収益の50%を超えると認められるものの名称を記載する。なお、いずれの農畜産物の粗収益も50%を超えない場合には、粗収益の多いものから順に3つの農畜産物の名称を記載する。
- 4 (C)欄の「関連事業等の内容」には、耕作又は養畜の事業に関連する事業(①農畜産物を原料又は材料として使用する製造又は加工、②農畜産物の貯蔵、運搬又は販売、③農業生産に必要な資材の製造、④農作業の受託)、農業と併せ行う林業、農事組合法人が行う共同施設の設置又は農作業の共同化に関する事業を記載する。
- 5 (C)欄の「権利取得後」欄には、権利を取得しようとする農地又は採草放牧地(以下「農地等」という。)を耕作又は養畜の事業に供することとなる日を含む事業年度以後の状況を記載する。
- 6 (C)欄の「農業」欄には、法人の行う耕作又は養畜の事業及び関連事業等(以下「農業」という。)の売上高の合計を記載し、それ以外の事業の売上高については、「左記以外の事業」欄に記載する。また、「1年前」から「3年前」の各欄には、その法人の決算が確定している事業年度の売上高の農用地利用集積計画の公告前3事業年度分をそれぞれ記載し(実績のない場合には空欄)、「初年度」から「3年目」の各欄には、権利を取得しようとする農地等を耕作又は養畜の事業に供することとなる日を含む事業年度を初年度とする3事業年度分の売上高の見込をそれぞれ記載する。
- 7 (D)欄の「議決権又は株式の数」欄には、株式会社にあつては株式(議決権のあるものに限る。)の数を記載する。
- 8 (D)欄の「前年実績」欄には、農用地利用集積計画の公告の日を含む事業年度の前事業年度において法人の行う農業に常時従事している構成員の農業への年間従事日数を記載し、「見込み」欄には、権利を取得しようとする農地等を耕作又は養畜の事業に供することとなる日を含む事業年度における農業への年間従事日数の見込を記載する。  
なお、「年間農業従事日数」には、農業部門における労務管理や市場開拓等に従事した日数も含まれる。
- 9 (D)欄の「法人と構成員との取引関係等の内容」欄には、例えば「法人から生産物を購入している食品会社」、「法人に農作業を委託している農家」、「法人に肥料を販売する肥料会社」、「法人と特許権の専用実施権の設定を行っている種苗会社」等と記載する。
- 10 (E)欄の「住所」欄には、農事組合法人にあつては理事、合名会社、合資会社又は合同会社にあつては業務執行権を有する社員、株式会社にあつては取締役(以下「業務執行役員」という。)が生活の本拠としている場所を記載する。
- 11 (E)欄の「年間農業従事日数」欄の「前年実績」欄には、農用地利用集積計画の公告の日を含む事業年度の前事業年度において法人の行う農業に常時従事している業務執行役員の農業への年間従事日数を記載し、「見込み」欄には、権利を取得しようとする農地等を耕作又は養畜の事業に共することとなる日を含む事業年度における農業への年間従事日数の見込を記載する。  
なお、「年間農作業従事日数」には、農業部門における労務管理や市場開拓等に従事した日数も含まれる。
- 12 (E)欄の「年間農作業従事日数」欄の「前年実績」欄には、農用地利用集積計画の公告の日を含む事業年度の前事業年度において業務執行役員が行った農業への年間従事日数の内数として、その行った耕うん、播種、施肥、刈取り等の農作業に従事した年間日数を記載し、「見込み」欄には、権利を取得しようとする農地等を耕作又は養畜の事業に供することとなる日を含む事業年度において業務執行役員の行うこととなる農業への年間従事日数の内数として、その行った耕うん、播種、施肥、刈取り等の農作業に従事する年間日数の見込を記載する。